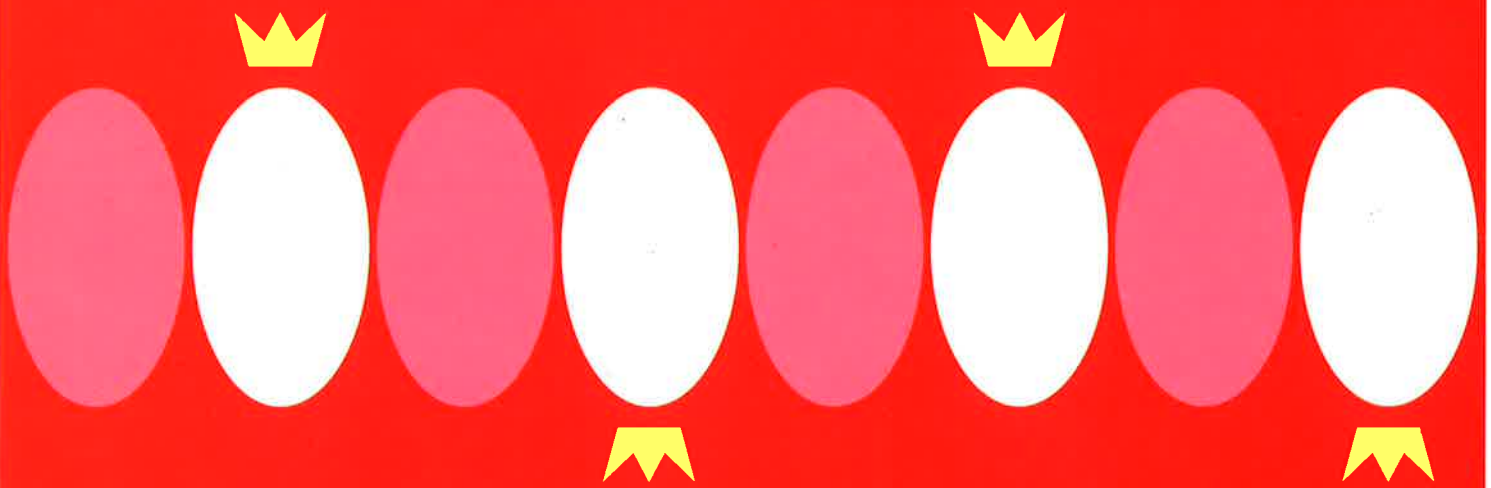


# ありーて



## もくじ

特集 26.08歳—結婚のまわりの女性たち—  
高岡市内未婚女性・男性83人の胸のうち  
「結婚・生き方」アンケート集計結果

セピア色の写真から

気になるコトバ

こんにちは 女性行政室です

おもしろ数字

「ありーて」は、自分の力で問題解決していく  
イギリスの童話の主人公の名前です。  
「私の未来は私が創る」とありーてはいいます。

この情報誌では、身近な話題の中から、女性と男性の新たな関係や多様な生き方について、考えていきたいと思えます。そこで、私たちの各ライフステージに応じた大切なテーマをとらえ、創刊号では「結婚」をとりあげました。

最近では、高岡でも若い人達を中心に、結婚に対するイメージや考え方が変わってきているようです。

未婚の方たちが、これからの生き方をどのように考えているのかを知るためにアンケートをしました。

あたりまえのように思っていた「結婚」。これをもう一度探ってみたり、必ずしも結婚にこだわらない生き方も紹介してみたいと思います。

アンケートの結果や、そこに書かれた生の声をつなげてドラマを作りました。

まずは、「T.T.」26.08歳、結婚のまわりの女性たち」全2幕の開演です。

**一幕**

**結婚。しない。わけじゃない**

**ありませぬ**

夕食がすみ、ダイニングには恵子と妹美穂そして、母ヨシ子が。新聞を眺めていた美穂がこんな記事を見つけた。



美穂 へー。25歳過ぎて独身って、結構多いんじゃないんか。

まあ、おねえちゃんも、独身だもんね。なにに、女性の平均初婚年齢



酒井恵子 / 26歳、独身。  
地元大学卒業後、X-カーゴ事務。両親と同居、二人姉妹。趣味は旅行。

酒井美穂 / 17歳、高校生。  
酒井ヨシ子 / 49歳、パート。

は27、7歳になるほど。おねえちゃんー

恵子 なご。

美穂 おねえちゃんは、結婚しないの？もしかして男嫌い？

恵子 (笑) なに言ってるのよ。結婚ね…。いつかはするつもりよ。そのうち、相手が現れたらね…。

ヨシ子 恵子ったら、「相手さ



宮沢りえ子 / 既婚。  
一児あり、育児のため専業主婦。

織田裕三 / 独身。  
地元企業就職。仕事バリバリ、女たぎらい。

**高岡市内未婚女性・男性 83人の胸のうち**

**の女性たち**

え」って、いつになるか？織田くんはどうか？仲良くしとるやろ。あのこだったら、勤めもいいし、確か、次男やったよね…。

美穂 織田さんは「ダチ」って感じだよ。この間の電話の人なんか、怪しいんじゃない？

恵子 会社の後輩よ…。だいたい、まだ26よ。結婚、結婚っていわれる歳じゃないワ。

ヨシ子 そうはいうけど、お正月だって、本家のおにいさんにいわれたがいよ、「恵子ちゃんもそろそろやね。決まった人はおるがけ？」って。

恵子 ……。はい、はい。明日の準備しなくちゃ…。木村が(東京から)帰ってるから、みんなで集まるの。じゃあ、おやすみ。

ヨシ子・美穂 おやすみ。

**二幕**

三十路までには…。

織田 木村が無事に帰ってきたことを祝って乾杯!!

全員 乾杯!!

木村 宮沢は？

山口 子持ち。だからね。実家に、子供預けてから来るって言った。

木村 あいつだけが結婚してんだな…。

織田 そうか。一児の母だもんな…。宮沢がかあちゃんだなんて、信じられないなあ。

山口 30歳までに、もう一人欲しいって言うてる。

全員 へー

宮沢 ごめんー遅くなっちゃって。(店員に向かって)すみません、ウーロン茶、ひとつください。

恵子 飲まないの？

宮沢 車で来たから。子供迎えに行かなくちゃいけないの。

織田 かあちゃんは大変だな…。

宮沢 そうでもない、楽しいよ。会社を辞めるときは、どうなるんだろう、なんて不安もあったけど、やること一杯あるし、子供みてる飽きないのよ。

山口 私も子供欲しい！出産のこと考えると、ここ2、3年のうちに結婚しなくちゃね。

恵子 そうね。30歳までには結婚したいね。そういえば、小泉今日子も鈴木保奈美も、29歳で結婚したんだよね。

織田 俺も、なんとなく、30前後に結婚するのかな、

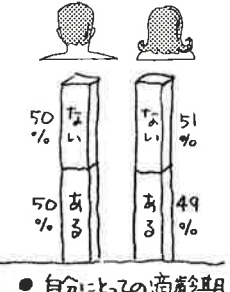
**「結婚・生き方」アンケート集計結果**

高岡市内在住や勤務の未婚の男女にアンケートを行いました。女性58名(平均26・08歳)、男性25名(平均26・25歳)のみなさんから回答をいただきました。その中で、結婚していない理由の答えは1位は男女とも相手がない、2位も男女とも当面結婚したいとは思わない、3位は女性が遊びたい、男性は経済力の不足をあげました。

「生涯結婚しませぬ派」は0名でした。

Q 現在または、近い将来やりたいと思うことは？

1位	恋愛が	1位	結婚が
2位	仕事をあげる	2位	資格が
3位	資格が	3位	教養を身につける



なんて感じがする。

木村 仕事も覚えて、収入も安定したころだと思っしな。『将来の見通し』がある程度たつた時ってことかな。

織田 若者でいられるギリギリのタイミング、かな。

全員 (笑)

宮沢 うちのダンナなんて、『おにいちゃん』って呼ばれなくなつて、結婚を真剣に考えた、なんて言つてたよ。

木村 わかる気がする…。

独身のうちに、  
やっておかなくちゃ！

宮沢 何歳までしなくちゃいけない、なんてないんじゃない。結婚したい人はすればいいし、その気のない人はしななければいいんだから…。このシュウマイ、おいしい。なかなかよ！

恵子 どれどれ…ほんとーでも、本場にはかなわないわね！

山口 恵子ったら、また海外に行つて来たのよ。『返還前の香港』だつて…。

あ。  
恵子 独身のうちだけでしょ。やれることは、なんでもやっておかなくちゃ!!  
木村 俺の職場にも、いろんな女の人がいるよ。仕事一筋もいれば、花のOLもいる。  
織田 東京か。うらやましいな…。例の彼女とは続いているのか?  
木村 ああ。「しばらくは仕事に打ち込みたいから」が口癖なんだ。仕事してる彼女は輝いてるし、まあ、俺も修行中の身だしなあ…。結婚は当分ないな。  
織田 今の女つて、結婚願望ないのかなあ?  
山口 やっぱり、結婚はしたいよ。でも…なんといつても「一生をともにできる相手」よね。白馬にまたがって「なくてもいいけど、「この人」っていう人と恋愛して結婚。  
木村 6年付き合つて、結婚する気配まったくなくなつていう奴もいる。  
恵子 慣れすぎちゃつて、「いまさら」なんじゃない?  
織田 宮沢はなんで結婚したんだ?  
宮沢 そつね…。ある程度仕事ができるようになって、違

# 特集 26.08歳 結婚のまわり



木村 巧 / 独身。東京勤務、独身。



山口智美 / 独身。OL。結婚なし。家は自営業。店は兄が継ぐ予定。

うことがしてみたかった、つてとこかなあ。キャリアウーマンは私の性じゃなかったしね (笑)

## 理想の結婚

山口 育児に、家事に大変ね。りえ子のこういう姿見ちゃうと、結婚も善し悪しって感じ。

ダンナさんは (家事を) 手伝つてくれるの?

宮沢 「三出しに、風呂掃除くらいかな。…パパは外で頑張つてくれるからね。

恵子 結婚しても仕事は続けたいな。そうなると、家事を分担してくれる人じゃないとね。

織田 なんかさあ、男のほう「選ばれてる」感じがするよな。

山口 この前、うちのにおいちゃんか、お見合いしたの。30になって、親もうるさくなつて…。商売家の長男でしょ。難しいよね。

宮沢 やっぱり、同居なわけ?

山口 無理よ。そんなんじゃ、まず誰も来てくれない。親も若いうちは別居でいいって言つてる。

全員 (笑)

織田 子供ができたら即、同居ってパターンだな。

山口 意外に、おにいちゃん古風なのよ。できれば、「結婚したら同居」が理想みたい。

無理して結婚しなくても、とは思うんだけど、仕事柄そうもいかなんだらうね。信用とかね…。

恵子 男も女もたいへんね…。宮沢 難しく考えないほうがいいのかもよ。確かに、昔に比べると結婚後の生活の選択肢はいろいろだから、「これで本当にいいのかな」なんて思つちゃう。こんな苦じゃなかったなあって思うこともあるけど、別に死ぬ訳じゃなし、やり直すもよし…。

木村 それつて、離婚つてこと?

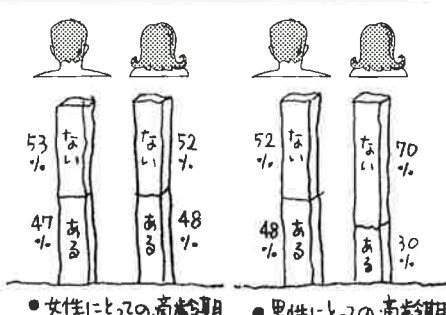
宮沢 そういう選択だつてあるんじゃない。

店員 こちらお下げしてもよろしいですか?

恵子 これもお願い。織田、お替わりは?

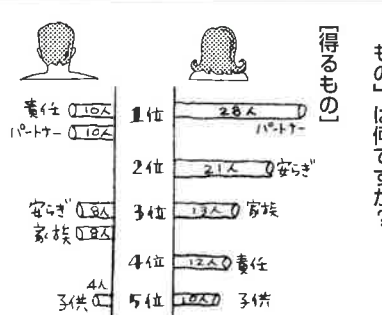
織田 そつたなあ、耐ハイ!

山口 私も、お替わり!  
5人の夜はまだまだ続くのでした…。



適齢期があると答えた人の意見より

お産と子育てを考えると30歳かそれ以上が上限かな



「失うもの」  
結婚して失ってしまうものは、「自由」と「時間」。大多数の人々が同じ回答でした。ただ、これ以外に「友人」を失ってしまうと考える女性が5人あり、男性の回答0人に対し、差がみられました。



# 思いこみを変えたいな

25日(25歳)になると安売りされちゃう「クリスマスケーキ」?!

女性の「25歳」をそう呼ぶ時代がありました。しかし、それも今は昔...

女性の夢は「お嫁さん」だけじゃない!

「女だからできないこと」は、ずいぶん少なくなりました。挑戦する女性たちは、とても元気です。

男友だちも、たくさんいます

子供のころから共学で育った彼女たちにとって、「男友だち」の存在はとても自然なもの。交際の機会が増えて、女性が男性をきちんと見られるようになりました...

独身時代の親との同居は極楽?!

家事は母親がしてくれるし、生活費はほとんどかからない。「母親も(私を)手放したくないみたい」男性ばかりかそんな女性たちが増えているように思うのですが...

男はやっぱり外でがんばるの?

結婚しても女性も男性も仕事を続ける。さらに家事は分担。若いカップルの中ではずいぶん浸透してきたようです。それなのに「稼いでくるのは男」という意識は変わっていないのでは? だから、結婚、出産、育児、介護などあるごとに女性が選択を迫られるの...?

「出産のことを考えると、やっぱり30歳までに結婚したい」の根拠

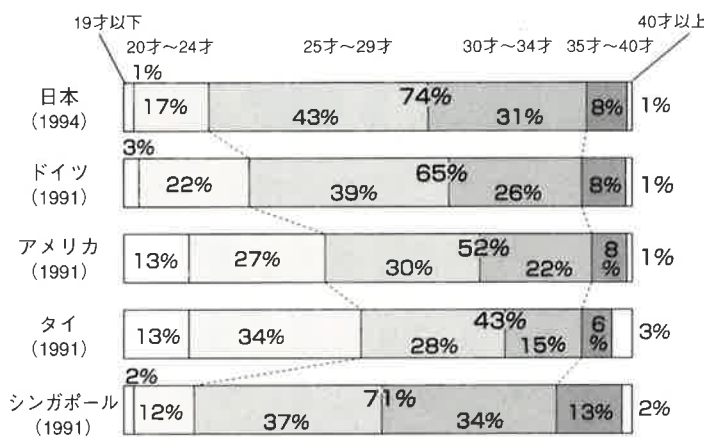
「結婚はしなくても、子供だけは欲しい」。スウェーデンでは婚外出産が50%にのぼるそうです。

ですが、日本のそれは1、2%あまりだとか。子供をもうけるためには結婚しなければならぬ、これが日本の状況なのではないか。また、「結婚したら子供を持つのがあたりまえ」という社会通念も、結婚と出産をワッセンセットに考えざるをえなくしているようです。こうした社会の認識や女性自身の意識が、「出産」は結婚年齢の「ガラスの天井」、つまり、子供が産める年齢までには結婚しなければならぬ、とのプレッシャーをつくり出したのではないのでしょうか。

しかし、女性を取り巻く環境、そして当の女性たちの意識が変わりつつある現在、「女に生まれたからには、子供を生まなければならぬ」「産むなら、ひとつでも若いうちに」「女は子どもを産んでこそ一人前」といった考え方はどうなのでしょう? もっと「産むこと」の選択肢「産むこと」「産まないこと」「産む時期を主体的に選択すること」があってもいいのではないのでしょうか。

「母の年齢別出生数」

## 〈海外比較〉

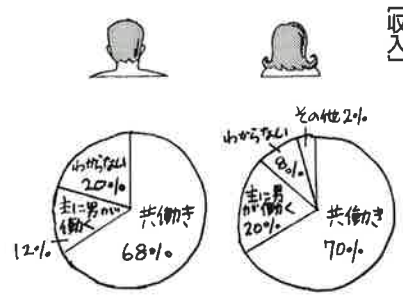
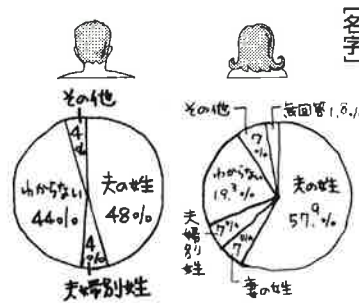
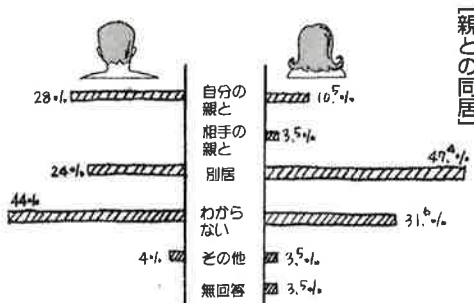


日本の出産年齢は25~34歳までに比較的集中しているようです。

## 〈国内比較〉

国内では、25~34歳をみると富山県は75%で、全国平均74%や東京都の75%と変わらない。ただし、25~29歳については富山県は48%で全国1位! 平均は43%です。(参考: 東京都40%・沖縄32%) 富山県は25~29歳に出産が多いようです。

※世界人口年鑑1995(国際連合)・平成6年人口動態統計調査を参照



Q 結婚をめぐる選択、あなたはどれを選びますか

## 親戚づきあいも

### 「新しい人間関係」だと思えば…

学生時代、一人暮らしをしていたせいか、「人とのつながりを持って生きていきたい」と思っていました。人と結びつくには、生活に根ざしたやり方で、人間関係をつなげていかなければならないと思い、昔からあるシステムとして「結婚」を選びました。だから、結婚すると、お互いの兄弟などとの関係が増えていきますが、それも昔からのいわゆる「親戚づきあい」ではなく、新しい人間関係ができることだと考えています。

私たち夫婦は、二人で何かおもしろいことをして暮らせたらいいな、という発想で、「農業を仕事に選びました。いまだき農業」というと、脱サラして街から離れたところで自然に囲まれ、「隠遁生活」という人が多いようですが、私たちはずっと社会と関わりながら農業に携わっていきたいと思っています。

野村 Kさん

## 血縁以外の「家族」もあるのでは…

離婚した女性二人が出会って、自然派家庭料理の店をやっています。

店には「シングル」の人たちもたくさん来られます。どの人も自分自身が存在しているというか、自分自身を認めて生きてるなっていると思います。自分の時間を充実にさせている、自分が燃えるものを持っている。仕事であれ、好きなことであれ、生きることを楽しめているという感じですか。「自分自身が踏みつけられていない」「どうも雰囲気がいんです」。

結婚という前に、みんなお定まりの「家族」という固定観念に縛られすぎ

# いろいろあって みんないい

4人の方にインタビューしました

## 新しい自分を見つける チャンスかもしれない…

この秋に結婚します。すいぶん悩みました。彼は転勤族で今も名古屋です。結婚はイコール富山を離れること。もちろん会社も辞めなければなりません。なによりも気掛かりだったのは、年老いた両親のこと。兄が一人いるのですが、やはり転勤族で当にはなりません。

「結論をだした今は、意外にすっきりしています。大学を卒業し、疑いもなく就職して5年。これからというところでの退職です。でも、これって見方をかえればチャンスなのかもしれません。勤めも、住む土地もかわり、いろんなことが白紙になります。しがらみのない状態で「自分について」考えられるわけです。「結婚って、失うばかり？」と悩んだこともありましたが、いまでは「新たな自分が見つけれられるのでは？」とポジティブに考えています。

魚津市 Kさん

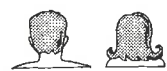
## アメリカ—選択肢としての結婚。

### 多様なライフスタイル

アメリカには、日本のように、学校を卒業して、就職して、結婚して…という決まったコースはありません。ハイスクールまではある程度同じだけれど、卒業後すぐ大学に入る人もいれば、仕事してから入学する人もいます。結婚し育児をすませてから勉強する人もいたり、さまざまに生き方、ライフスタイルがあります。したがって「結婚するか、しないか」「いつするか」も、人それぞれです。たとえ結婚したとしても、女性が男性の分まで「家事をしてあげる」「面倒をみてあげる」という感覚は全

博労 Sさん

Q 独身であることで、肩身の狭い思いをしたことはありませんか？



ある	ある
8%	23%

たとえば、こんな時

▽親から小言で「そんな事をしていから結婚できないんだ」といわれる時  
▽職場の女性の中で、最年長なので居づらくなった時  
▽結婚していい女性を「なぜ？」とばかりに、とやかく言うのはやめて欲しい。結婚していいのが、独身であろうが、仕事上は関係ないはず。しかし、そうは思わない人たちがいる。(特に40〜50代の女性がそう。)そしてそんな女性に限って、家庭をもっていいことに甘えながら仕事をしている。  
▽兄が結婚し、次は私の番だと言われた時  
▽身近な人に「世間にはずかしい」と言われた時  
▽周りの人が結婚していく時



今は色あせてしまった一枚の写真が、大正、昭和の時代を生きた祖母や母の姿を思い起こさせてくれます。少女時代の思い出、結婚、子育て、仕事、地域での生活……。私たちの今と、どちらがうのでしょうか。

# セピア色の

## 写真から

さわやかな怒りを

志摩 まちさん



昭和8年 22歳



志摩まちさんは、大正元年（1912）塩田幸吉さんの四女として、伏木に生まれました。

早くに母を亡くし、慶応義塾出身ですぐれた教養人と評判の父親の影響を受けて育ちました。

子どものころは、大正デモクラシーのさなか、「赤い鳥」など、大正児童文化の盛んな時代でした。そのころ、関東大震災を題材に童謡を作りました。

月がみ空のかがみなら  
とおいとおい東の国の  
江戸の都のかわったさまを  
うつつで見せてくれるだろう  
うつつで見せてくれたなら  
わたしはおまえに何を言はう  
月さん有難う ありがたうと

当時の女性としてはめずらしく、日本女子大学を卒業。結婚後、昭和23年、伏木小学校PTA副会長になりました。

そのころのPTAでは、父母や先生たちが遠足のオヤツをどうするか、卒業式で児童・生徒を表彰するかどうかなど、徹底的に意見をぶつけ合ったそうです。「心を閉じていては、あんなに激しい議論などできなかったでしょう

う。」と志摩さんは当時を振り返っています。

結婚相手の二郎さんを「私の人生の中で出会った人の中で最も純粋な人」と尊敬していたそうです。

PTAの後、民生委員、保護司、婦人会会長、裁判所調停委員、更生保護婦人会会長、教育委員長など、さまざまな立場で活躍しましたが、その

つど、二郎さんは「人の役に立つのならやってあげなさい」とアドバイスされたとか。二郎さんが53才で亡くなったため、夫の会社を引き継いで事業家としての道を歩む一方、福祉の充実に関心をもちました。

「ボランティア」という言葉さえまだ知らない人が多かった昭和62年、志摩さんの提唱で伏木にボランティア「かたごグループ」が発足しました。グループは昼食宅配ボランティア、読書サービス、手芸品の制作・販売、観光ガイドの4グループに分かれています。

これには地域それ自体を福祉を支える基盤と考え、住民が自主的に参加することで、積極的、組織的に福祉を進めようとするねらいがあり

ました。今では約100人が参加しています。

一生を福祉にささげてきた志摩さん。その心の奥底にあったものは何なのでしょう。

「その日は何かにさわやかに怒っていた。心の中に光さす怒りである。私は時として生きているという実感を怒りの中に味わうことがある——」（県民大学友の会「雷鳥」第17号より 志摩まち）

童謡、そしてこの文章にこめられた、社会正義に対する強い思いがひしひしと伝わってきます。

昨年12月、自宅を訪問しました。病をえて車イスでしたが、背筋を伸ばし、りんとした姿が印象的でした。残念ながら、あまり話しを聞くことができず小沢昭己、鶴谷悦子、松田小夜子さんのご協力でお話をまとめました。ありがとうございました。

参考「高き處を愛し」（志摩まちさんの労を讀める会発行）

女性プラン情報誌編集室では、今後も先輩女性の生き方を紹介していきたいと思っています。ぜひこの人を取り上げてほしいといったご意見をお待ちしています。

# こんにちは 女性行政室です

あなたは男女の平等についてどう感じていますか。まだ、身の回りや社会の色々な所で、男性優位の面が多く残っているのではないのでしょうか。

そこで、これからの新しい男女の関係や、生き方などについて考える手掛かりや話し合いのきっかけになればと思いい「女性プラン情報誌ありーて」を発行することにしました。応募いただいた3人の編集員の方と一緒に企画編集したものです。女性男性を問わず、できるだけ多くの方々に読んでいただきたいと思っています。さて、高岡市では、平成5年3月に、男女が共に協力し合い責任を分かちあつて住み良いまちづくりを目指すために「高岡市女性プラン」を策定しました。女性行政室は、このプランを推進する中核として事業に取り組むとともに、事業全体の企画調整と啓発のために平成5年4月に設けられました。これからの情報誌を通じて、女性行政室で行っている事業などを

順次お知らせしていきますのでよろしくお願いたします。

## 地域セミナー

(出前講座)

地域や職場などの小グループでテーマをきめ、ビデオや講義をまじえながら、みんなで話し合うものです。日時、場所等を決めて連絡をいただければ、女性行政室が実施のお手伝いをします。

図書、ビデオの貸し出し

家族のことや、女性の生き方、仕事などに関わる本や家庭や家族の関係を直すビデオを用意し、貸し出しをしています。

○平成9年度の事業から

・女性弁護士による 無料法律相談

・女性フロンシンポジウム

・女性の自己開発セミナー

・女性プラン写真展

随時、市民と市政等でお知らせいたします。

# 気になる「トバ

## 「母体保護法」

Q

「母体保護法」という法律ができたって聞いたけど私に関係あるんですか？

A

○女性にとって、大事な法律です。

## 「トバ

昨年6月、優生保護法という法律が改正されて、「母体保護法」になりました。

優生保護法には二つの目的があったけど、そのうち「不良な子孫の出生を防止する」ということが、障害をもつ人たちの差別につながるということで、今回、削られました。

○その結果、法律の内容はもう一つの目的の「母性の生命健康を保護する」つまり、医師の認定による人工妊娠中絶に関することだけになりました。

この法律の名前を「避妊」不妊及び人工妊娠中絶に関する法律にしたらしい女性議員の意見もあったんだけど、最終的には、この名前になったそうです。

○前の法律と変わらず、人工妊娠中絶は、配偶者の同意がいるということになっています。妊娠、出産は、女性にとっても重大なことだから、二人できちんと話しあっていく必要がありますね。

定による人工妊娠中絶に関することだけになりました。

この法律の名前を「避妊」不妊及び人工妊娠中絶に関する法律にしたらしい女性議員の意見もあったんだけど、最終的には、この名前になったそうです。

○前の法律と変わらず、人工妊娠中絶は、配偶者の同意がいるということになっています。妊娠、出産は、女性にとっても重大なことだから、二人できちんと話しあっていく必要がありますね。

○女性の健康というと、つい妊娠や出産だけに、目がいつまうけれど、これからは、もっと生涯にわたって女性の健康を総合的に保障する、そんな考え方が重要だと思います。

これは、おとし、北京であった第4回世界女性会議でも世界中の女性たちが、真剣に話しあったことだそうです。

女性も、性のことや自分自身のからだのことをもっと知って、考えていくことが必要ですね。



平成8年度女性プラン写真展  
高岡市長賞作品  
「保育実習「子供ってかわいいな」」

「ありーて」創刊号はいかがでしたか。ご意見、ご感想、今後取り上げたいテーマ、人など、何でもご自由にお書きください。お便りを待っています。

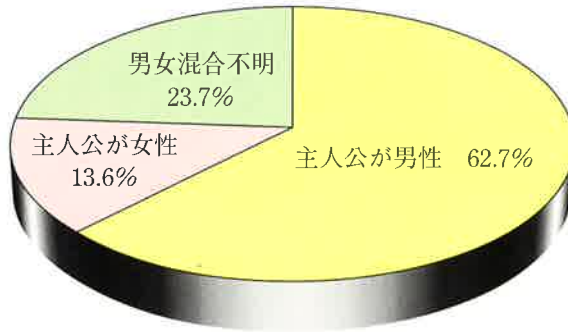
.....  
.....  
.....  
.....  
.....  
.....  
.....  
.....  
.....  
.....



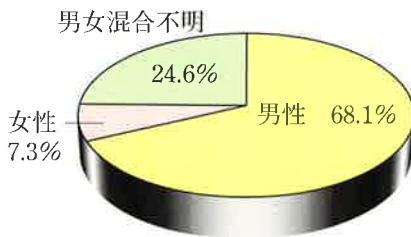


# えっ 絵本の中でも性差別 !?

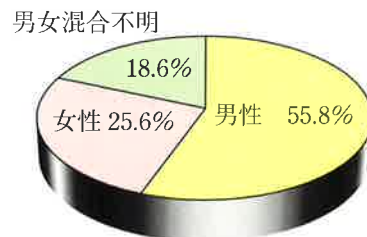
絵本の主人公における男女比を調べたものですが、これを見ると主人公は圧倒的に男性が多く、女性が作った絵本でも、男の子を主人公に描いたものが過半数を占めています。



男性作者による主人公の男女比



女性作者による主人公の男女比



※参考資料  
1985年 グループ橋  
「絵本に見る性差別」

「女性の時代」と言われながらもこの時代、なぜか息苦しい。わたしたちが抱えている「今日」の問題のありかを問いたたしてみたい。そんな想いを、いろいろなデータで表現します。

四季には、キラキラと輝く場面がたくさんある。  
田おこしが終わった水稲田に満々と水が滲えられ、あたかも「鏡面」のように空や風景を映し出す春。初夏の、ある雨上がりの朝、南天の葉に残る無数の水滴の輝き。晩秋には、紅く色づく落葉の絨毯。そして、街

会社勤めも5年目に突入です。無我夢中の3年がすぎ、4年目、ようやく周りのことが見えるようになりました。職場での、そして家庭での女性問題も身近になってきました。  
「いまどきの20代の女性」の一人として編集に携わっています。女性問題って、特別なことじゃないんですね。  
菅原 みどり

## 編集員からひらひら

子育てもそろそろ終盤。介護の問題を抱える前の「今」は、これまでの生き方を見直し、人生を軌道修正する時期かな？  
更年期、介護、老人問題、私をとりまく問題は、これからも続くだろうけど、その中でも「私の中の私」を見失わないように育てたい。  
編集の仲間たち、そして取材中に出会った女性たちに触発され、更年期も結構おもしろいと鼻歌まじりで暮らしてみたいのですが……。  
中島 依子

路灯のあかりの中で、しんと降り続ける雪の静寂。  
この私はどうだろうか、自問する。季節の輪転のなかで、いつも輝きを持ち続けていたいと願うものだ。  
間片 美代子

恐れ入りますが、50円切手を貼って投函して下さい。

9 3 3 -

富山県高岡市広小路7-50

高岡市企画調整部  
女性行政室

高岡市女性プラン情報誌『ありーて』係

女性行政室：FAX番号 (0766) 20-1661

ふりがな

お名前

年齢

歳

ご住所

TEL

※『ありーて』をどこで入手されましたか？

表紙：モテモテ (国立高岡短期大学  
藤坂 恵 四柳 智美  
山下 千鶴 山下 美穂)

イラスト：稲積 美香  
発行：高岡市企画調整部女性行政室  
〒933 高岡市広小路7-50  
電話0766-20-1262 FAX0766-20-1661